

有他相容寂寞在後歷者
可謂及此已矣

大約年十旬而寫

昔於京寓訪問

花密庭草勝於

めくれす

62

族籍	山口縣華族	生年月日	天保十四年三月十五日
舊籍		舊氏名	有地品之允

本籍 山口縣阿武郡萩町千四百三十八番屋敷
現住所 四谷區大番町八十五番地

年号	月	日	任	免	賞	罰	廢
明治四年	七月廿三日		任陸軍少佐				

奉日	御親兵六番大隊長被仰付矣事	兵部省
十月廿日	軍務局令課被仰付矣事	同

奉日	任侍從	
十二月廿日		

六年五月十七日	免本官	太政官
全二日	位記返上可致事	同

七年二月三日	提督府分課被仰付矣事	海軍省
十月四日	任海軍少佐	同

八年五月廿三日	淺間艦北海道回航中實地經驗、爲乗組	海軍省
九年三月廿七日	被仰付矣事 被仰付矣事 被差遣事	海軍省

九年三月廿七日	被仰付矣事 被差遣事	太政官
九年五月十日	高雄丸船長被差免候事	海軍省

九年七月一日	高雄丸船長被差免候事	海軍省
九年九月一日	提督府出勤被仰付候事	同

九年九月一日	貟外徵募掛被仰付候事	同
九年九月一日	水兵徵募トシテ別紙掲載、諸懸出張被仰付	同

九年九月一日	黑田特命全權辦理大臣（隨行朝鮮國出張 盡力候付烏其賞縮緬代金百圓下賜候 事）	太政官
九年九月一日	付委事（別紙置）	同

貞生三月
勅語
勅諭苦勞三存ル
朝鮮國引取朝三付下
理事等

白羽三重
貞生

十年	一月	廿七日	東海鎮守府在勤被仰付候事	同	
	十九日	廿九日	今般林大佐神戶出張付其府長副官トモ不在 中副官心得ヲ以テ府務取扱ヘキ候事	同	
	廿六日	御用有之神戸出張被仰付候事	同		
	三月	三日	鹿児島逆徒征討付九月戰地出張	同	
	十九日	廿九日	東海鎮守府在勤被差免候事	海軍省	
	四月	五日	東海水兵本營長被仰付候事	同	
	六月	三日	富士山艦長兼務被仰付候事	同	
	八日	廿八日	鹿児島逆徒征討際盡力不少候三月勲四等ニ 叙シ金六百五拾圓下賜候事	同	
	七月	十日	一等月俸被下候事	同	
	八月	九日	富士艦長兼務被差免候事	同	
	西年	全	六日	東海鎮守府司令長官仁礼海軍少將今般御 巡幸供奉不在中代理兼務被仰付候事	同
			貴族院		
	十五年	青廿日	東海水兵本營長被差免更ニ日進艦長被 仰付候事	海軍省	
	六月	六日	任海軍大佐		
	七月	七日	日進艦長被差免更ニ比叡艦長被仰付候事	海軍省	
	八月	八日	朝鮮國航海		
	全	七月	叙從五位		
	青廿日		比叡艦長被差免更ニ筑波艦長被仰付候事	海軍省	
			朝鮮國へ出張格別勉勵候付慰勞トシテ		
	全	日	縮緬代金八拾圓下賜候事	太政官	
	二月	廿六日	本邦環海周航		
	十六年	二月	廿六日	脚氣病調査委員兼務被仰付候事	
			但真木少將ノ指揮ヲ受ケ可相勸候事	海軍省	
	七年	二月	三日	新西蘭南北布哇國等航海	
			免本職補軍事部次長		
	六年	三月	九日	士官教育法取調委員被仰付候事	
			海軍省		

		貴族院			
年	月 日	事	官	内閣	省
廿年	十一月 二十九日	横須賀鎮守府軍法會議判士被免	内閣		
廿一年	一月 十三日	廣島縣下江田島出張被仰付	内閣		
廿一年	七月 三日	臨時士官學術検査委員長被免	内閣		
廿一年	八月 六日	小野演造船所於赤城艦進水式執行候付其官江田島兵學校赴任，途次同所	内閣		
廿一年	十月 廿八日	於本官代理スルハシテ御用有之出京被仰付	内閣		
廿一年	五月 七日	免本職補海軍參謀部長（兼海軍將官） <small>會議委員如故</small>	内閣		
廿一年	七月 六日	第二第三第四海軍區巡視被仰付	内閣		
廿一年	十月 五日	大日本帝國憲法發布記念章ヲ授典久	内閣		
廿一年	三月 一日	陸海軍聯合大演習審判官被仰付	内閣		
廿一年	四月 二日	御用有之吳佐世保江田島京都出張被仰付	内閣		
廿一年	十月 十三日	吳佐世保兩鎮守府及江田島兵學校行幸供奉被仰付	内閣		

貴族院								
年	月	日	事	旨	官	内閣	内閣	内閣
西元 廿年	八月	五日	隣邦諸港航海					
	六月	七日	免本職兼職補常備艦隊司令長官			内閣		
	青	杏	勅令第十五号官職等級表第少將ハ勅位主					
			寄付被定					
廿一年	二月	二日	隣邦諸港航海					
	全	吉	叙正四位					
	三月	廿日	海軍大演習第一期防禦軍第二期攻擊軍指揮官被仰付			内閣		
	青	青	勅令九十太子少將ハ高等官三等ト被定					
	青	青	任海軍中將					
廿二年	十月	三十日	補吳鎮守府司令長官			内閣		
	全	日	上京被仰付但來青月十五日着京スヘシ					
	青	光	叙勳二等賜瑞寶章					
	青	四日	今般上京被仰付置候處右御用相濟矣条此旨					
	全	廿一日	心得シ					
廿三年	五月	廿日	免本職補常備艦隊司令長官			内閣		
	全	廿日	臺湾へ出張					
	土月	廿日	免本職					
	全	日	待命被仰付					
	全	廿一日	授旭日重光章					
	全	廿一日	明治三十七八年戰役功ニ依リ旭日重光章及					
	廿四年	六月	五百四十万円ヲ授ケ賜フ					
	全	廿日	年金六百四十万円ヲ授ケ賜フ					
	廿四年	六月	豫備被仰付					
	全	廿日	特旨ヲ以テ華族ニ被列					
	廿五年	七月	男爵議員當選					
	全	廿日	依勲功特授男爵					
	廿五年	七月	男爵議員當選					
	廿六年	七月	特旨ヲ以テ位一級被進					
	全	廿日	議員任期終了					
	廿七年	七月	貴族院議員當選					

	三月十五日	後備役被仰付	内閣
四年	一月	敍勲一等授瑞寶章	勳勲局
全	日	明治三十七八年事件ノ功ニ依リ勲一等瑞寶章	勳勲局
四月	三十日	ヲ授ケ賜フ	賞勲局
五年	六月十日	叙正三位	賞勲局
四月廿二日	七月九日	議員任期終了	
大正元年	八月一日	議員當選(當選御縁請御林道看科ヲ賜)	
		明治四十五年勅令第五十六號ノ旨ニ依リ韓國併合	
四年	十月廿日	記念章ヲ授典セラル	
青	吉	大正四年勅令第二百號ノ旨ニ依リ大禮紀念章ヲ授	
四年	十一月	典セラル	
五年	五月	經濟調査會委員被仰付	内閣
(前)	全	大正三四四年事件ノ功ニ依リ金貳千圓ヲ賜フ	賞勲局
十月	十日	華族世襲財產審議會會員被仰付	宮内省
六年	四月七日	任樞密顧問官	
		貴族院	
	四月三十日	議員辭職御允裁	

裏面白紙

67

明祕受不第九號

一木極密紙
白面
厚光
平滑

日本
本
有
子

日本
本
有
子

黃
紙
白
面
厚
光
平
滑

黃
旅

紙

		貴族院			
全	日	總務局文書課勤務ヲ命ス		内務省	内閣
全	日	郡區長試験委員ヲ命ス		内務省	内閣
二月三日		臨時諸規則取調委員ヲ命ス		内務省	内閣
三月廿八日		非職ヲ命ス		内務省	内閣
四月四日		自費留学許可 (獨乙)		内務省	内閣
共六年	二月六日	歸朝		内務省	内閣
	二月八日	復職ヲ命ス		内務省	内閣
全	日	八級俸下賜		内務省	内閣
全	日	叙高等官七等		内務省	内閣
全	日	大臣官房文書課勤務ヲ命ス		内務省	内閣
三月十三日		大蔵官房文書課勤務ヲ命ス		内務省	内閣
三月十七日		縣治局勤務ヲ命ス		内務省	内閣
三月廿日		郡區長試験委員ヲ命ス		内務省	内閣
四月十一日		叙從七位		内務省	内閣
七月四日		京都府大阪府滋賀縣へ出張ヲ命ス		内務省	内閣
七月廿日		京都大阪滋賀へ出張ノ序以テ廣島縣へ 出張ヲ命ス		内務省	内閣
七月廿五日		事務格別勉勵勞効不尠依テ金三百圓賞典		内務省	内閣
七月十日		官制改正		内務省	内閣
乙年一月三日		沖繩縣へ出張ヲ命ス		内務省	内閣
九月五日		任法科大學教授		内務省	内閣
全	日	叙高等官七等		内務省	内閣
全	日	兼任内務書記官		内務省	内閣
全	日	叙高等官七等		内務省	内閣
全	日	本俸五級俸下賜 (年俸八百圓)		内務省	内閣
全	日	憲法國法學第一講座擔任ヲ命ス		文部省	内閣
全	日	行政法講座分擔ヲ命ス		内務省	内閣
廿八年六月廿三日		文官高等試験臨時委員被仰付		内務省	内閣
十月十八日		陞叙高等官六等 (一本官)		内務省	内閣

		貴族院			
年	月	日	事	官	部
三十一年	九月	廿九日	陞叙高等官六等	(兼官)	内 宮內省
		廿九日	叙正七位		
三十一年	十月	十日	文官高等試驗臨時委員被免		内 閣
		二月	本俸四級俸下賜		文部省
三十一年	四月	三日	中學校ニ関スル臨時取調委員ヲ命ス		内 閣
		三日	文官高等試驗臨時委員被仰付		内 閣
三十一年	七月	十五日	陞叙高等官五等	(本官)	内 閣
		八日	文官高等試驗臨時委員被免		内 閣
三十一年	九月	廿一日	陞叙高等官五等(内務書記官)		内 閣
		廿一日	叙後六位		内 閣
三十一年	九月	廿九日	陞叙高等官五等(内務書記官)		内 閣
		廿九日	叙正五位		内 閣
三十一年	九月	十九日	外交官及領事官試驗委員被仰付		内 閣
		十九日	本俸五級俸下賜		内 閣
三十一年	九月	三十日	兼任内務省參事官		内 閣
		三十日	叙高等官二等		内 閣
三十一年	十月	卅一日	職務格別勉勵三付金百五拾圓賞与		内 閣
		一日	官制改正		内 閣
三十一年	十一月	一日	兼任廄官		内 閣
		一日	兼任内務省參與官		内 閣
三十一年	十二月	五日	叙高等官二等		内 閣
		五日	内務省所管事務政府委員被仰付		内 閣
三十一年	十二月	十六日	文官高等試驗臨時委員被免		内 閣
		十六日	條約實施委員長ヲ命ス		内 閣
三十一年	三月	廿一日	法典調查會委員被仰付		内 閣
		廿一日	京都府奈良縣愛知縣廣島縣へ出張ヲ命ス		内 務省
三十一年	三月	廿七日	職務格別勉勵三付金四百圓賞与		内 閣
		廿七日	法學博士ノ學位ヲ受ク		文部省
三十一年	四月	十二日	内務省文官普通懲戒委員ヲ命ス		内 務省
		十二日	文官高等懲戒委員被仰付		内 閣
三十一年	四月	十三日			

		貴族院			
年	月 日	官名	事務	任命者	内閣
明治二十九年	十月三日	依願免兼官		内閣	内閣
	十一月三十日	東京帝國大學評議員ヲ命ス		文部省	内閣
	十二月廿日	法典ニ関スル政府委員被仰付		内閣	内閣
三十一年	四月十日	憲法國學第一講座担任ヲ免シ更ニ行政法第一 講座担任及憲法國學第一講座兼任ヲ命ス	文部省 内閣	内閣	内閣
	六月廿日	文官高等試驗臨時委員被仰付	文部省 内閣	内閣	内閣
	七月一日	國法學講座兼擔ヲ命ス	文部省 内閣	内閣	内閣
	十月九日	本俸四級俸下賜	内閣	内閣	内閣
	十一月九日	法典ニ關スル政府委員被仰付	内閣	内閣	内閣
	十二月七日	陞叙高等官	大學	内閣	内閣
昭和五年	三月廿日	學術上取調之為靜岡愛知二縣下へ出張ヲ命ス	内閣	内閣	内閣
	四月十五日	兼任農商務省參事官	内閣	内閣	内閣
	五月廿八日	法典調査會委員被免	内閣	内閣	内閣
	六月十二日	叙高等官二等	内閣	内閣	内閣
	七月一日	文官高等試驗臨時委員被仰付	内閣	内閣	内閣

		農商務省	
年	月	日	事
明治三十七八年	六月	廿四日	農商務省文官普通懲戒委員ヲ命ス
	廿五日	全 日	特許代理業者試験委員長ヲ命ス
	廿六日	九月	任法制局長官兼内閣恩給局長
	廿七日	全 日	兼任東京帝國大學法科大學教授
	廿八日	九月	文官高等試験委員長被仰付
	廿九日	全 日	政務調査委員被仰付
	三十日	全 日	鑑毒調査委員長被仰付
	廿一日	十月	文官高等試験臨時委員被免
	廿二日	十一月	依願東京帝國大學評議員ヲ免ス
	廿三日	十二月	文官高等懲戒委員被仰付
	廿四日	一月	法典調査會委員ノ職ヲ奉シ勳勞勘カラス
	廿五日	二月	依テ勳四等瑞寶章ヲ授ケ賜フ
	廿六日	三月	敍勳四等授瑞寶章
	廿七日	四月	政府委員被仰付
	廿八日	五月	補高等捕獲審檢所評定官
	廿九日	六月	政府委員被仰付
	三十日	七月	陞敍高等官二等
	廿一日	八月	政府委員被仰付
	廿二日	九月	文官高等懲戒委員被仰付
	廿三日	十月	敍勳三等授瑞寶章
	廿四日	十一月	脚用有之韓國へ被差遣
	廿五日	十二月	明治三十七八年、戰役ノ際叛國ノ旨意ヲ以テ 從軍者家族扶助ノ爲メ金百十円寄附候段 奇特ニ候條其賞トシテ木杯一組下賜矣事
	廿六日	元年	賞勳局
	廿七日	一月	政府委員被仰付
	廿八日	二月	依願免本官並兼官
	廿九日	三月	特旨ヲ以テ位一級被進
	三十日	四月	宮内省
	廿一日	五月	敍正四位

貴族院					
四月一日	敍勲二等授旭日重光章	明治三十七年事件ノ功ニ依リ勲二等旭日重光章及年金六百圓ヲ授ケ賜フ <small>(四字詩三月三日官報号外ニ出)</small>	賞勲局		
十月廿日	帝國學士院規程第二條ニ依リ勅旨ヲ以テ				
四月二十日	帝室制度調査局殘務取扱被仰付	宮内省			
五月廿日	法律取調委員被仰付				
四月二十一日	帝室制度調査局殘務取扱被免				
四月二十二日	任內務次官	内閣			
七月三日	敍高等官一等				
七月二十二日	内務省文官普通試験委員長ヲ命ス	内務省			
全 日	神職高等試験委員長ヲ命ス	内閣			
七月二十七日	神職尋常試験委員長ヲ命ス	内閣			
七月二十八日	港灣調查會委員被仰付	内閣			
七月二十九日	日本大博覽會評議員被仰付	内閣			
八月四日	文官高等懲戒委員被仰付	内閣			
八月六日	東京市區改正委員被仰付	内閣			
九月六日	東洋拓殖株式會社設立委員被仰付	内閣			
九月廿六日	教科用圖書調查委員會委員被仰付	内閣			
全 芝日	主查委員ヲ命ス	文部省			
全 芝日	第一部門員ヲ命ス	内閣			
十月十三日	條約改正委員會委員被仰付	内閣			
十一月十日	宮城縣へ出張ヲ命ス	内務省			
全 芝日	鐵道會議議員被仰付	内閣			
全 廿五日	内務省所管事務政府委員被仰付	内閣			
翌年一月十四日	東洋拓殖株式會社設立委員被免	内閣			
四月十九日	日英博覽會評議員被仰付	内閣			
五月三日	樺太及北海道へ出張ヲ命ス	内務省			
六月十一日	内務省地方局長林次竹郎不在中同局長心得ヲ命ス	内務省			

		貴族院			
大正	十月十五日	第一部长ヲ命ス		内閣	内務省
	十一月三日	任法局長官兼内閣恩給局長		内閣	内閣
	十二月二日	日本大博覽會評議員被免		内閣	内閣
	一月四日	依願免本官		内閣	内閣
	二月二日	古社寺保存會委員被仰付		内閣	内閣
	三月八日	恩賜財團濟生會評議員ヲ嘱託ス		内閣	内閣
	四月三日	賞勲局		内閣	内閣
二年	一月九日	文官高等試験委員長被仰付		内閣	内閣
	二月一日	共通法規調查委員長被仰付		内閣	内閣
	三月三日	文官高等懲戒委員被仰付		内閣	内閣
	四月六日	紋從三位		内閣	内閣
三年	五月一日	文官高等試験委員長被仰付		内閣	内閣
	六月一日	明治四十五年勅令第五十六號ノ旨ニ依リ韓國併合記念章ヲ授與セラル		内閣	内閣
	七月一日	法律取調委員ノ職ヲ奉シ盡力勘ガラス依テ		内閣	内閣
	八月一日	金杯一組ヲ賜フ		内閣	内閣
四年	九月十六日	任文部大臣		内閣	内閣
	十月三日	依願教科用圖書調査委員會委員被免		内閣	内閣

五月 廿一日	全月 全日	依願古社寺保存會委員被免ス	文部省
五月 六日	教育調查會副總裁被仰付		
四年 八月 十日	任內務大臣		
十月 十四日	大正四年勅令第五四號ノ旨ニ依リ大禮紀念章ヲ授與セラル	賞勲局	内閣
十一月 一日	叙勲一等授瑞寶章	賞勲局	内閣
五年 一月 廿日	大正四年二月靜岡縣磐田郡袋井尋常高等小學校基本財產トシテ金二百圓寄附候段奇特三付爲其賞木杯一組下賜候事	賞勲局	内閣
七月 十四日	授旭日大綬章	賞勲局	内閣
八月 四日	金三千五百圓ヲ賜フ	賞勲局	内閣
十月 九日	依願免本官	賞勲局	内閣
六年 三月 十九日	大正三年戰役際報國ノ旨意ヲ以テ恤兵費内ヘ金二百圓寄附候段奇特ニ候條其賞トシテ	賞勲局	内閣
貴族院			
五月 三日	木杯一組下賜候事	賞勲局	
八月 十四日	古社寺保存會委員被仰付	内閣	
全 三十日	任樞密顧問官	賞勲局	
	願、依リ貴族院議員ヲ免ス	内閣	